

新年ごあいさつ 学校給食で子どもたちに笑顔を 理事長 七尾尊志

2025年、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、本会に対しまして旧年中に賜りましたご支援・ご厚情に心より感謝申し上げます。

学校給食を取り巻く環境もずいぶん変わってきました。地球温暖化による気候変動に起因する農作物や漁場への影響、紛争がやまない世界情勢に起因する物流等への影響、国内では物価高騰や給食費無償化の動きとそれに伴う影響、そして昨年の「令和の米騒動」とも言われるコメの価格の高騰、少子化に伴う児童生徒数の減少による全体の食数の大幅減など多様化しております。社会情勢の不安や円安などの影響により物価が高騰し、給食用物資もここ数年値上げが続いており、各調理場では限られた予算の中で献立の作成や食材の調達など、栄養教諭、栄養職員をはじめ関係の皆さんのご苦勞も絶えないと伺っております。

また、学校給食を支えてきた委託加工工場では施設設備の老朽化や後継者不足のために近年、廃業や撤退が相次ぐなど、学校給食の安定的な供給体制の維持が危うい状況にあります。これらのあおりを受け、本会の運営もこれまでにない難しい舵取りを余儀なくされております。このように、時代の流れを反映して学校給食を取り巻く新たな課題も次から次へと押し寄せ、たいへん厳しい状況下にはありますが、本会は公益財団法人という立場を踏まえ、柔軟に一つ一つの課題解決に向けて、所期の目的を果たしていけるよう取り組んでまいりたいと思っています。

本会は事業目的の柱の一つである「安全・安心で安価な食材の安定供給」は、学校給食の充実につながり、併せて食育の推進は明日を担う本県の子どもたちがこれからの変化の激しい時代を、生涯を通じて健康にたくましく生き抜くための基盤となるものと考えます。私たちの目の前には、給食の時間を毎日楽しみにしている子どもたちがいます。食を愛し、しっかり食べて心身ともに大きく育っていけるよう、その健やかな成長を願い、学校給食での楽しみや安心と笑顔をさらに広げていけるように貢献していければと思っています。本年もよろしくお願い申し上げます。